

# Alive アライブ

2022年3月期 第2四半期 | No.62

## Contents

- 5 オリックスレビュー
- 7 こんなところにオリックス
- 9 オリックス・バファローズ ニュース
- 10 企業情報／社会貢献活動
- 11 株主の皆さまへのご案内



1 [特集]

サステナブルな

未来へつながる  
暮らしを選ぼう

# Choice!



未来へつながる暮らしを選ぼう

# サステナブルな Choice!

Choice 1  
衣

## 新しい服は本当に必要？ サステナブルな視点で見極めて

日本で1年間に廃棄され、処分された服は約48万トン。1日当たり大型トラック約130台分の衣服がごみとして捨てられた計算になります。\*「今所有している服を少しでも長く大切に着る」それだけでも環境負荷を減らせるのです。

※出典：環境省ホームページ  
([https://www.env.go.jp/policy/sustainable\\_fashion/](https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/))

オリックスの取り組み

リースが終了した機器や自動車も販売・リサイクルし、価値あるものを長く大切に活用しています。



Choice 3  
食

## 古くて新しい発想 “量り売り”で必要な量だけ買う

必要な食品を必要な量だけ買える“量り売り”。かつて日本の商店では当たり前のように見られていた光景が、現代では新しいお買い物スタイルとして注目を集めています。食品の無駄な廃棄を減らすだけでなく、包装ごみの削減にも！

オリックスの取り組み

必要なときに必要な量だけ、さまざまな機器を企業にレンタルしています。



Choice 2  
衣

## シェアリングやリサイクルで 環境に配慮したオシャレを楽しんで

服や小物はシェアリングサービスを利用。セカンドハンド(古着)も取り入れて、ファッションの廃棄物削減に貢献！近年は使用済みの衣料品を素材や原料としてリサイクルし、新たな製品をつくり出す取り組みが、アパレルやスポーツメーカーで活発に。日常のオシャレにも、環境への配慮はますます重要になっています。

オリックスの取り組み

廃棄物を資源に生まれ変わらせる「再資源化工場」を運営しています。



Choice 4  
食

## すぐ食べるなら、 “てまえどり”で食品ロスを削減

基本は「食べ物は残さない」「必要な量だけ買う」。さらに、すぐに使う予定の食品は、棚の手前から消費期限や賞味期限が近くなったものを買うこと(てまえどり)が、食品ロスを減らすことにつながります。また、週に一度は冷蔵庫の中をチェックして、できるだけ食べきる「冷蔵庫一掃デー」の実施もおすすです。

オリックスの取り組み

廃棄された食品などから生成したバイオガスで発電しています。



Choice 5  
住

## 小さな選択の積み重ねが CO<sub>2</sub>排出量の削減に

地球温暖化の原因の一つと考えられているCO<sub>2</sub>の排出量を減らすため、私たちの日常の中でもできることがたくさんあります。例えば、電気をこまめに切ったり、長時間使用しないときにはプラグを抜いたりなど、基本的なことの積み重ねが大切です。さらに、電球をLEDに切り替えたり、省エネ家電を選んだり、日常生活の中で脱炭素社会の実現につながる選択を実践していきましょう！

オリックスの取り組み

太陽光、風力、地熱などの再生可能エネルギーによる発電事業を行っています。



Choice 6  
住

## カーシェアやレンタルで 循環型社会づくりへ貢献

資源を大切に、廃棄物をなるべく出さない循環型社会。例えば、自動車を個人で所有せずに複数の人でシェアすれば、自動車をつくる資源も有効活用でき、廃車時の廃棄物も減らすことができます。家具や家電製品も、住まいや家族構成の変化にあわせてレンタルすれば、廃棄物の削減につながります。

オリックスの取り組み

カーシェアリングやシェアオフィスなどのサービスを提供しています。



Choice 7  
旅

## 自然や文化に触れながら 地域も元気にする旅

日常を離れ、家族や友人と見知らぬ場所を訪れる。旅はそれだけでも楽しいけれど、“訪れて終わり”ではもったいない。旅先の自然や地域の文化にも触れることで、自然の価値やその土地の魅力をもっと感じられる。すると、きっとまた訪れたいかなっながらも、地域経済の活性化や環境保全を促していくのです。

オリックスの取り組み

地域の特色を生かし、魅力を伝える旅館・ホテルを運営しています。



Choice 8  
財

## 環境や社会に配慮している 企業に投資する

企業が環境や社会などに配慮した経営を行っているかを判断基準に投資を行う「ESG\*投資」が世界でも注目されています。個人でも、少額からでも、株式や投資信託を通じて、サステナビリティにつながる企業活動を応援することができるのです。

※ESG: E(Environment=環境)、S(Social=社会)、G(Governance=ガバナンス)

オリックスの取り組み

社会課題解決につながる事業を行う企業に投資しています。



監修：九里 徳泰

相模女子大学学芸学部教授。同大学院MBA社会起業研究科教授。富山市政策参与(自然環境・環境経営)。専門はサステナビリティ・マネジメント(持続可能性経営)。ジャーナリストとして15年間世界80カ国を取材後、中央大学助教授、富山県立大学教授を経て現職。

# さまざまな領域で、事業を通じた社会課題解決に取り組んでいます

## 環境

### 脱炭素社会への移行

#### 再生可能エネルギー



太陽光、風力、地熱、バイオマスなどの再生可能エネルギーによる発電事業に取り組んでいます。特に太陽光発電においては、日本国内で100カ所以上のメガソーラーを運営。海外においても、欧州、北米、南米などで事業を展開し、グローバルに再生可能エネルギーの普及に取り組んでいます。

#### CO<sub>2</sub>排出の少ない車両



レンタカー事業やカーシェアリング事業では、管理車両数約67,000台のうち、EV(電気自動車)、HV(ハイブリッド車)、FCV(燃料電池自動車)を合わせて約10,500台導入し、環境性能に優れた車両をお客さまに提供しています。\*

※2021年3月末時点

#### 環境性能の高いオフィス・住宅



オフィスや物流施設の開発事業では、建築環境総合性能評価システム(CASBEE)で高い評価を取得。また、分譲マンションの開発事業では、断熱性の向上や太陽光発電設備の導入により、年間エネルギー消費量の収支をゼロ以下にする「ZEH-M(ゼッチ・マンション)」を推進しています。

#### 環境負荷の少ない輸送



国内外の航空会社に機体を提供する航空機事業では、燃費効率の良い機種保有割合を高め、航空業界のCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献していきます。また、国内外の海運会社に船を提供する船舶事業では、バラスト水\*を適切に処理する装置を搭載し、海洋環境の保全を推進しています。

※空荷の船を安定させる目的で積み込む水。バラスト水によって持ち込まれた外来種が、海洋生態系に及ぼす影響が懸念されている。

P7もご覧ください

### サーキュラーエコノミーの推進

#### 廃棄物の再資源化



埼玉県で廃棄物の「再資源化工場」を運営。廃棄物を約2,000℃で溶融し、アスファルト舗装の材料や道路の凍結防止剤などに再資源化しています。また、2022年1月には、廃棄物を有効活用してエネルギーを生み出す再生可能エネルギー発電施設の運転開始も予定しています。P7もご覧ください

## 社会

### 企業の活性化

#### 社会を支える企業への投融資



ヘルスケア、BPO\*、IT・情報サービス、物流・レンタル、酪農などの領域で、社会課題解決につながる事業を展開する企業に投資を行っています。オリックスグループの幅広い事業・サービスを通して培った専門知識やノウハウ、ネットワークを活用して、投資先企業の経営をサポート。投資先企業と一体となり、社会課題解決に貢献していきます。

※ビジネス・プロセス・アウトソーシングの略。自社の業務プロセスの一部を外部の専門的な企業に委託すること。

P8もご覧ください

#### 中堅・中小企業支援



高齢化が加速する日本では、地域や業界で必要とされているにもかかわらず、後継者がいないという理由で廃業を選択する企業が少なくありません。こうした企業の事業承継を支援することで、地域経済の発展や雇用の創出に貢献。また、リース、レンタル、融資をはじめとしたオリックスグループの幅広いサービスを通して、中堅・中小企業の経営課題解決をサポートしています。

### 地域の活性化

#### 地域との共創



旅館やホテルの運営事業では、地域の特色や魅力を生かした施設を各地で運営し、地域の雇用創出にもつなげています。2021年には「地域共創プロジェクト」を開始。各施設の「地域共創担当者」が地域の企業や自治体と連携し、観光資源の発掘・創出に取り組んでいます。ほかにも、オフィス、商業施設、ホテルなどで構成される複合型のまちづくりも手掛け、地域の活性化に貢献しています。

### サステナビリティレポートもご覧ください

オリックスグループサイトに、「サステナビリティレポート2021」を掲載しています。オリックスグループが取り組んでいくESG関連の重要課題や重要目標を公開していますので、ぜひご覧ください。

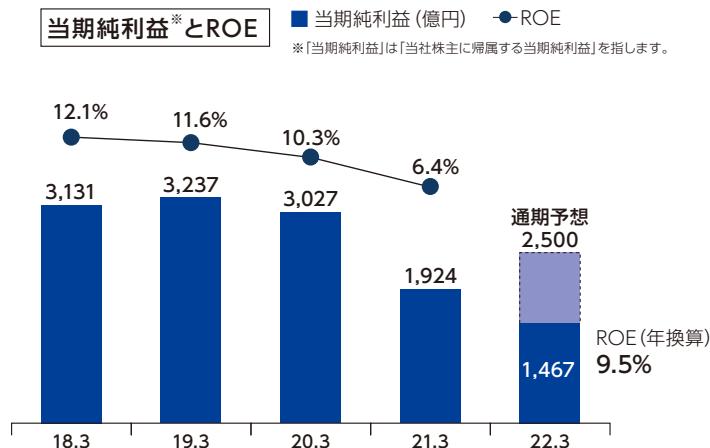
[https://www.orix.co.jp/grp/company/sustainability/sustainability\\_report/](https://www.orix.co.jp/grp/company/sustainability/sustainability_report/)



① 決算ハイライト (2022年3月期上期実績)

● 上期の当期純利益は1,467億円。通期予想に対する進捗率は58.7%

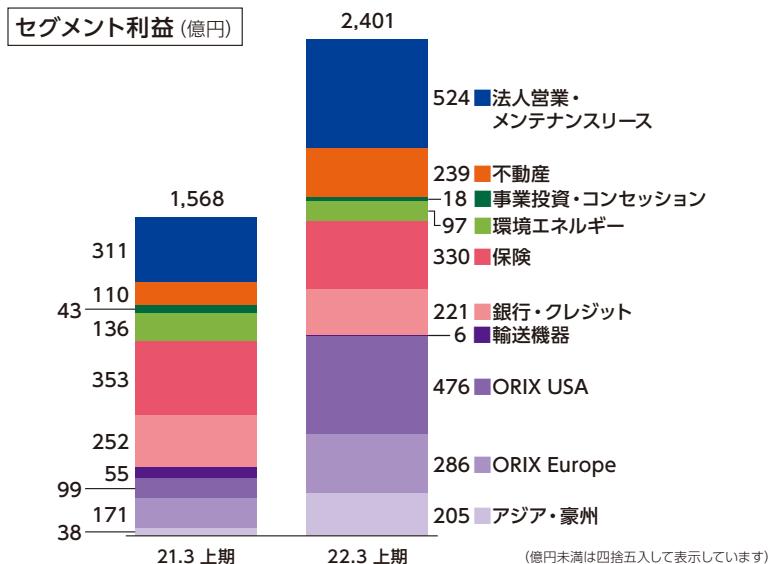
2022年3月期上期の当期純利益は1,467億円となり、前年同期の938億円と比べ大幅な増益となりました。2021年3月期の第2四半期以降、順調な回復を継続しています。2022年3月期の当期純利益予想2,500億円に対する進捗率は58.7%です。



② セグメント利益・実績

● 上期のセグメント利益は2,401億円  
前年同期比53.2%の増益

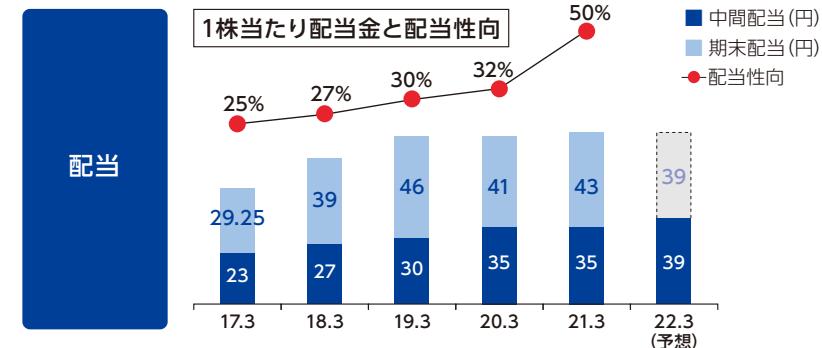
多角的な事業ポートフォリオが安定的な利益を計上しています。前年同期比では、法人営業・メンテナンスリース、不動産、ORIX USA、ORIX Europe、アジア・豪州の5つのセグメントが大きく伸長しました。



③ 株主還元

● 通期配当予想は78円。安定した株主還元を実施

2022年3月期の通期配当予想は78円です。中間配当39円を実施し、期末配当は39円の予想です。また、2022年3月期中の500億円の自己株式取得を発表しており、2021年10月末時点で、累計384億円の自己株式を取得済みです。



自己株式取得 2022年3月期中に500億円を取得予定 (2021年10月末時点で384億円の取得完了)

④ 新規投資の進捗状況

● 2021年3月期以降、約8,000億円の新規投資を実行

2021年3月期から2022年3月期上期にかけて、環境エネルギー、アセットマネジメント、プライベートエクイティの注力分野を中心に、約8,000億円の新規投資を実行しています。また、大阪のMICE-IR\*プロジェクトなど、投資のパイプラインは引き続き潤沢です。

新規投資の案件 (2021年3月期通期および2022年3月期上期)

分野	投資額 (億円)	主な投資例
環境エネルギー	2,000	インドの大手再生可能エネルギー事業者Greenko Energy スペインを本拠とするグローバル再生可能エネルギー事業者Elawan Energy
アセットマネジメント (米国・欧州)	300	米国の不動産関連の資産運用会社Boston Capital (同社の一部運用資産の取得) 英国のオルタナティブ資産運用会社Gravis Capital Management
国内プライベートエクイティ投資	900	ネットワーク機器メーカーのAPRESIA Systems (オリックス・レンテックと連携し、ローカル5G実証実験パッケージのレンタルサービスを開始)
不動産	1,000	首都圏を中心とした物流施設
その他	3,600	船舶事業における最新鋭エコシップの発注 アジアでのプライベートエクイティ投資
合計	約8,000	—

\*MICEは、企業などの会議 (Meeting)、企業などが行う報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際機関・団体・学会などが行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市・イベント (Exhibition/Event) の頭文字。IRは、統合型リゾートの略。

サーキュラーエコノミーの推進

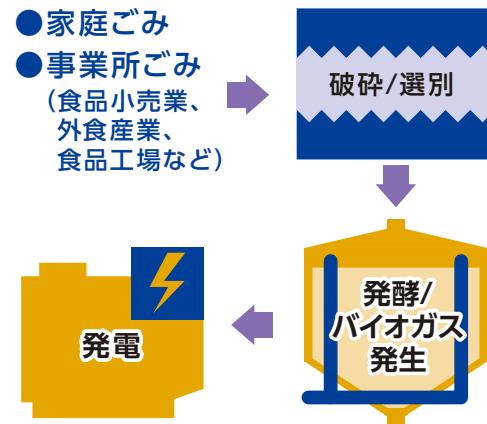
国内最大規模\*の乾式バイオガス発電施設「寄居バイオガスプラント」竣工

6月、再生可能エネルギー発電施設「寄居バイオガスプラント」が竣工しました。2022年1月より、商業運転開始を予定しています。本施設は、一般廃棄物をメタン菌で発酵させ、生成したバイオガスで発電します。

国内で普及しているバイオガス発電施設の多くは、湿式のメタン発酵技術を用いており、食品ごみなどの水分含有率が高い有機物のリサイクルに限られていました。一方で、本施設で採用する乾式のメタン発酵技術は、水分含有率が低い紙ごみや、プラスチックなどが混入したごみもリサイクルできます。これまで分別できずに燃やされていたごみを有効活用することで、焼却処理されるごみの量を減らし、CO<sub>2</sub>排出量の低減にも貢献していきます。

\*当社調べ、最大で1日当たり100トンの処理が可能。

「寄居バイオガスプラント」における発電フロー



環境負荷の低減

最新鋭エコシップの第一号を発注し環境負荷の低減を推進

7月、常石造船株式会社が開発した最新鋭エコシップ2隻を、船主として初めて発注しました。

オリックスグループは、1971年から船舶リースを開始し、現在では世界有数の「ばら積み船」のオーナーとして、国内外の穀物商社や電力会社などの大手企業に船舶を提供しています。新たに建造する「ばら積み船」は、環境規制「EEDI」\*により、CO<sub>2</sub>排出量を基準値比20%削減することが求められていますが、このたび発注した新型船「TESS66エアロライン」は、基準値比30%削減を実現します。

これからも、50年以上にわたり蓄積してきたノウハウを生かして船舶事業に取り組んでいくとともに、環境負荷の低減を推進していきます。



載貨重量6万6千トンの新型船「TESS66 エアロライン」(イメージ図)

\*Energy Efficiency Design Index(エネルギー効率設計指標)の略称。国際海事機関(IMO)による新造船を対象としたCO<sub>2</sub>の排出量削減に関する国際条約。

企業の活性化

産業用小型ドローンを開発するスタートアップ企業に出資

8月、産業用小型ドローン「IBIS」を開発する株式会社Liberawareに出資しました。「IBIS」は、屋内空間での利用に特化し、煙突や配管をはじめとした危険な場所や人が進入できない場所の設備点検などで活躍。製鉄業や建設業などにおける安全性の向上と業務効率化に貢献しています。オリックスグループは、2017年よりドローンのレンタルや販売を開始。ほかにも、使用目的に応じた操縦技術習得のサポート、インフラや工場の空撮の受託など、ドローンを活用したさまざまなサービスを提供するとともに、2019年にはドローン関連企業への投資に特化した「Drone Fund 2号」に出資しました。これからも、先端技術をもつ企業と連携し、社会や企業の課題解決に貢献していきます。



屋内空間の設備点検などで活用される産業用小型ドローン「IBIS」

テクノロジーの普及

ローカル5Gの構築に必要な機器を「すべてまとめて」「必要な期間だけ」提供

10月、「ローカル5G」の構築に必要な機器をまとめて提供する「ローカル5G実証実験パッケージ」のレンタルを開始しました。

「ローカル5G」は、企業や自治体などが自ら基地局を設置してネットワークシステムを構築することで、「超高速・大容量」「超低遅延」「多数同時接続」などの特徴をもつ無線通信システム「5G」を、敷地内に限定して利用できる仕組みです。工場でのロボットの自動制御や、僻地や離島での遠隔診療など、さまざまな分野で実証実験が進められています。本パッケージを提供し、企業や自治体による「ローカル5G」の導入を後押ししていきます。

これからもレンタルを通して、新たなテクノロジーの普及に貢献していきます。

さまざまな場面での活用が期待される「ローカル5G」



「総務省におけるローカル5G等の推進」(総務省) (https://www.soumu.go.jp/main\_content/000739007.pdf) をもとに当社作成

「ローカル5G」についてもっと知りたい方はこちらをご覧ください  
[https://www.orix.co.jp/grp/move\\_on/entry/2021/04/02/100000](https://www.orix.co.jp/grp/move_on/entry/2021/04/02/100000)



## 25年ぶりのパシフィック・リーグ優勝！ 長年にわたり熱い応援をいただき、誠にありがとうございました



オリックス・バファローズは、2021年10月27日、悲願のパシフィック・リーグ優勝を成し遂げました。「我々は最下位からのチャレンジャー」という中嶋聡監督の言葉からスタートした今シーズン。厳しい戦いも数多くありましたが、セ・パ交流戦の優勝や37年ぶりの11連勝を果たし、勝利を重ねてきました。終盤の優勝争いは特に熾烈を極めましたが、皆さまからの一層熱い応援を力にすることで、最後には25年ぶりの栄光を掴み取ることができました。心より御礼申し上げます。これからもチーム一同、全身全霊をかけて戦い抜いていきますので、変わらぬご声援をよろしくお願い致します。

### PICK UP

それぞれの選手たちが実力を10%、20%上回る力を発揮し、全員の力で優勝を掴み取った今シーズンより、名場面をご紹介します。



#### 37年ぶり11連勝

6月23日北海道日本ハムファイターズ戦、紅林弘太郎選手、吉田正尚選手、杉本裕太郎選手がソロホームランを放って快勝しました。チーム37年ぶりとなる11連勝を達成し、首位をしっかりとキープしました。



#### 自身初の2桁勝利

8月20日埼玉西武ライオンズ戦、山本由伸選手が9イニングを投げ切り、10勝目を挙げるとともに、自身初のシーズン2桁勝利を達成。チームを牽引するとともに、個人の成績でも自己最高を大きく更新しました。



#### 3試合連続逆転3ランホームラン

9月30日千葉ロッテマリーンズ戦、T-岡田選手が2点差の9回2アウトから逆転の3ランホームランを放って勝利。チームとして3試合連続の逆転3ランホームランで、優勝へと大きく前進しました。

#### 会社情報 (2021年9月30日現在)

会社名	オリックス株式会社
設立	1964年4月17日
代表者	取締役 兼 代表執行役社長・グループCEO 井上 亮
従業員数(連結)	33,139名
事業内容	多角的金融サービス業
拠点数*	国内 1,660拠点 海外 489拠点

\* 世界28カ国・地域に展開しています。

#### 株式情報 (2021年9月30日現在)

発行会社	オリックス株式会社
発行可能株式総数	2,590,000,000株
発行済株式の総数	1,285,724,480株
株主数	741,017名

#### 所有者別株主構成比(株式数)



\*自己株式を控除して計算しています。

### 社会貢献活動

#### 「今できること」に取り組む 社会貢献活動

新しい価値と環境を創造し、社会に貢献することを目指して事業を展開しているオリックスグループ。一方で、事業活動だけではカバーしきれない領域においては、さまざまな社会貢献活動を行っています。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2022年3月期上期も対面での活動には制約が生じましたが、社会や暮らしが大きく変化する中で企業が活動していくことの意義をあらためて強く認識し、創意工夫をしながら「今できること」を続けていきます。

#### 株主さまメモ

##### 株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1

0120-232-711 受付時間:9:00~17:00(土・日・祝日休み)

##### 上場金融商品取引所

東京証券取引所市場第一部[8591]  
ニューヨーク証券取引所 [IX]

##### 株式事務に関するお問い合わせ先

株主さまの各種手続き(住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など)の窓口については、ご所有の株式が記録されている口座によって異なりますので、ご注意ください。

##### 証券会社に口座を開設されている株主さま

お取引口座のある証券会社にお問い合わせください。

##### 「特別口座」に記載されている株主さま

当社の口座管理機関(兼 株主名簿管理人)である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部(上記)にお問い合わせください。

#### 子ども食堂への支援を継続



オリックス宮内財団は、子ども食堂への支援を続けています。各地で開催されている子ども食堂は、コロナ禍でも子どもたちに食事や居場所の提供を続けるため、食材やお弁当の配布、屋外での開催など、さまざまな工夫を行っています。

#### 契約書類のペーパレス化で植樹活動に寄付



オリックス銀行は、契約関係書類のペーパレス化をご選択いただいたお客さまについて、一人当たり30円を植樹活動に寄付しています。2021年上期\*は、13,072名のお客さまにペーパレスをご選択いただき、苗木78本を寄付しました。

\*2021年1月4日~6月30日

## 今後のオリックスグループからの情報発信について

オリックスグループは、「世の中のニーズをとらえながら幅広い事業に取り組み、社会に貢献する企業であることを、より多くの株主の皆さまにお伝えしたい」という思いで、1986年より紙面による株主通信の発行を継続してきました。一方で、近年サステナビリティへの取り組みを推進する中で、地球環境に配慮した省資源化の観点から、株主の皆さまへの情報発信のデジタル化を進めていきます。

### 今後の株主通信の発行について

今後の株主通信の発行について、以下の通り予定しています。

- **本決算号**  
「定時株主総会招集ご通知」に統合させていただきます。
- **中間期号**  
紙面での発行を中止し、オリックスグループサイトに電子版を公開させていただきます。「個人投資家の皆さまへ」よりご覧ください。  
(12月上旬の公開を予定)

※「株主優待カタログ」は、これまで通り7月上旬に株主の皆さまに郵送します。

### オリックスグループサイト「個人投資家の皆さまへ」について

株主の皆さま向けの情報を掲載しています。今後も掲載情報を拡充していきますので、ぜひご覧ください。

<掲載内容事例>

- **個人投資家向け説明資料**  
オリックスの強みや成長戦略をわかりやすく解説しています。
- **株主優待について**  
株主優待情報をまとめてご紹介しています。
- **オリックスの情報発信サイト「MOVE ON!」のご紹介**  
オリックスの情報発信サイト「MOVE ON!」より、世の中の動きとオリックスグループの関係を深掘りするおすすめ記事をご紹介します。

オリックスグループサイト「個人投資家の皆さまへ」はこちら  
<https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/individual/>



### メール配信サービスについて

個人投資家の皆さま向けのメール配信サービスを行っています。最新のリリース情報や情報発信サイト「MOVE ON!」の更新情報をメールでお知らせしますので、ぜひご登録ください。

※三菱UFJ信託銀行株式会社が提供するサービスを利用しています。ウェブサイトに記載のご利用条件をご確認の上、ご利用をお願いします。

メール配信サービスはこちら  
<https://rims.tr.mufig.jp/?sn=8591>



オリックスグループサイトを中心に、  
今後も株主の皆さまへの情報発信を拡充していきますので、ぜひご覧ください。

この冊子の印刷・製本で使用される電気は、太陽光から発電されたグリーン電力で賄っています。

